

平成 26 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 セイコーエプソン株式会社
代表者名 代表取締役社長 碓井 稔
(コード番号：6724 東証第一部)

平成26年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異ならびに
営業外費用、特別利益および繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成26年 1 月31日に公表しました平成26年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成26年 3 月期における下記の営業外費用、特別利益および繰延税金資産の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績との差異

(1) 平成26年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異(平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 990, 000	百万円 79, 000	百万円 74, 000	百万円 52, 000	円 銭 290. 68
実績値 (B)	1, 003, 606	84, 968	78, 121	83, 698	467. 87
増減額 (B－A)	13, 606	5, 968	4, 121	31, 698	－
増減率 (%)	1. 4	7. 6	5. 6	61. 0	－
(ご参考) 前期実績 (平成25年 3 月期)	851, 297	21, 255	17, 629	△10, 091	△56. 41

(2) 差異の理由

第 4 四半期 (1 月～ 3 月) においてインクジェットプリンター消耗品の販売が日本市場で消費税増税前の需要増加にともない拡大したことなどにより、通期業績は前回予想を上回る結果となりました。

また、当期純利益につきましては、後掲 2. (3)に記載のとおり繰延税金資産の計上により、前回予想を大幅に上回る結果となりました。

2. 営業外費用、特別利益および繰延税金資産の計上

(1) 営業外費用（連結）

為替差損

一部の海外子会社における現地通貨安および一部先行して実施していた為替予約の為替相場変動にともなう影響などにより、為替差損3,757百万円を当第4四半期の営業外費用として計上いたしました。

(2) 特別利益（単体）

貸倒引当金戻入額

当社連結子会社の財政状態を踏まえ、単体で貸倒引当金戻入額13,744百万円を当第4四半期の特別利益として計上いたしました。また、通期の貸倒引当金戻入額は10,656百万円となりました。

なお、当該貸倒引当金戻入額につきましては、連結上は消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

(3) 繰延税金資産（連結・単体）

平成26年3月期業績実績および翌期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討し計上額を見直した結果、税金費用が減少することとなり、法人税等調整額を連結で△30,734百万円、単体で△8,375百万円それぞれ計上いたしました。

以 上